

案

令和 7 年 月 日

南風原町下水道事業管理者
町長 赤 嶺 正 之 様

南風原町下水道事業審議会
会長 仲 尾 国 弘

南風原町下水道事業経営戦略の改定について（答申案）

令和 6 年 6 月 21 日付け南区第 355 号で諮問のありました見出しの件につきまして、当審議会で審議を行った結果、下記のとおり答申いたします。

記

南風原町の下水道事業は、公衆衛生、生活排水の処理、川などの水質保全、浸水防除に取り組むため、令和 2 年度に策定した下水道事業経営戦略に基づき計画的な下水道整備の事業運営に努められています。

しかしながら、経営戦略策定当時と比較して費用は物価上昇により増加傾向となる中、下水道使用料収入の不足や今後は老朽化する下水道施設の更新（改築）の時期が着々と到来している現実があり、下水道事業を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。

このような状況下で、経営戦略改定版（案）は、経営戦略当初からの直近の状況について、計画と実績における分析をもとに今後の投資・財政計画に反映しています。投資計画においては令和 5 年度から新たな交付金を活用して迅速な下水道整備を進めること、財政計画においては経費回収率 100%を目指した財源確保策を整理した上で、中長期的な財政運営に必要な資金の確保について達成できるものとなっており、経営戦略として妥当な内容のものと認めます。

附帯意見

経営戦略の取り組みを推進するにあたり、次の事項に配慮されることを要望します。

- (1) 下水道使用料の改定については、受益者負担の原則に基づき将来的に経費回収率 100%達成を目標としつつも、大幅で急激な使用者負担増とならないよう、計画的かつ段階的に行って頂きたい。
- (2) 将来にわたって安定的に事業を継続していくため、下水道使用料の改定

のみに依存することなく、費用の更なる削減及び新たな収入の確保についても努め、効率的な事業運営を行って頂きたい。

- (3) 今後の住民サービスの向上に向け、将来需要の見通しも踏まえた上で、経営戦略に沿って計画的に施設整備を進められたい。なお、社会情勢の変化等により将来需要の見通しが当初計画を大きく下回ることが見込まれた場合は、事業規模の縮小も含めた検討を行って頂きたい。

以上